

地域整備方針

(京都市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
<p>京都駅周辺地域</p>	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>○京都市圏の中核を担う京都駅とその周辺地域において、都市活力をけん引するオフィスビルや商業施設などの都市機能の高度集積を進める</p> <p>○市立芸術大学移転や市中央卸売市場の再整備、梅小路京都西駅の開業を契機として、クリエイティブなまちづくりの機運が高まり、アートやデザイン、ものづくり、伝統・先端産業などが融合した様々な取組・活動が展開されることを目指す</p> <p>○災害に強く観光客を含む様々な人々が交流できる広域的かつ多機能な複合拠点を形成</p>	<p>○京都駅と梅小路京都西駅の交通便利性を活かし、情報化に対応した業務機能、観光客等広域的な集客機能を持つ商業・観光・文化・交流機能等多様な都市機能を集積</p> <p>○京都市中央卸売市場第一市場整備に伴い生み出される「有効活用地」の活用</p> <p>○五条通沿道への新産業の創出につながる産業クラスターの形成や新たな商業機能の誘致</p> <p>○大規模災害時においても、各種都市機能への影響を出来る限り軽減し、滞在者の安全を確保するための防災性の向上</p> <p>○効果的な土地・空間利用によるゆとりあるオープンスペースを活かし、賑わい機能の創出や防災機能を強化</p>	<p>○バス・タクシー乗降場の機能充実をはじめとする交通結節機能の強化や安全性にも配慮した歩行者のためのゆとりある空間創出</p> <p>○災害時における、京都駅ビルを含むターミナル周辺の人々の流動を踏まえた、地域内の公共施設の機能の確保及び帰宅困難者を含む滞在者に対する避難場所・物資・情報の提供のための施設確保、より安全な動線の確保</p> <p>○公共施設整備や都市開発事業で生み出されたオープンスペースを活かした魅力的な空間の確保</p>	<p>○京都駅から世界遺産である東寺の景観を阻害せず、東寺や京都駅ビルの高さや調和する、都市の歴史的景観特性に配慮した都市開発事業の推進</p> <p>○歩行者ネットワークの充実等、駅を軸に人と公共交通優先のまちづくりの推進</p> <p>○エリアマネジメントによる地域の活性化の取組</p> <p>○都市開発事業の契機等をとらえ、備蓄倉庫の設置や一時滞留可能な空間等を確保するための支援・誘導の実施</p> <p>○都市開発事業において、敷地内や屋上の緑化、建築物等の省エネルギー化や木質化、災害対応も想定した効率的で安定的なエネルギーシステムの導入等による脱炭素化を推進</p> <p>○官民連携による大規模災害を想定した訓練の実施</p> <p>○脱炭素型の都市の実現に向け、快適で効率的な移動の創出を図るため、IoTやAI、自動運転、Maasの導入の推進</p>